

2008年1月4日

米倉 弘昌 社長 年頭あいさつ要旨

昨年4月から新しい中期経営計画がスタートした。最重要課題として位置付けている「ラービグ計画」については、本年秋の商業生産開始に向けて順調に進展している。今後、克服しなければならない多くの課題もあるが、「ラービグ計画」は当社の石油化学事業の競争力を世界トップクラスに押し上げる重要なプロジェクト。一人ひとりが当社の将来を切り拓くという気概を持ち、職務に邁進して欲しい。

「ラービグ計画」では、製品をアジアのほか欧州にも販売する予定。今後、われわれにとって欧州がさらに身近な存在になる。欧州はEUの拡大と深化により魅力ある市場。すでに各部門において欧州進出を着実に進めているところだが、さらにこの動きを加速していくことを期待している。

積極的なグローバル化の進展に伴い、海外拠点の位置付けはますます重要になる。本年から一部のコーポレートスタッフを海外拠点に派遣し、世界規模で展開する事業を効率的に支援する体制を整える。さらに、4月から本格導入される日本版SOX法をふまえ、内部統制システムの整備、充実を図る。これまでに以上にグループ社員が一体となり、必要な支援、協力を相互に行いながら、グループ全体のシナジー効果を高めて欲しい。

企業の成長の源泉は研究開発。画期的な新製品、新技術を世に送り出すためには、「創造的ハイブリッド・ケミストリー」をさらに追求する必要がある。開発中の製品については、早期の事業化に全力を尽くすとともに、既存事業については、スピード感あるイノベーションを実現し、製品の高付加価値化や川下事業展開を推し進めていただきたい。

会社生活において大切なのは、生き生きと仕事をする事。そのためにも将来の夢を持って取り組んで欲しい。私の夢は、今後10年の間に、住友化学がイノベーションを継続して事業拡大を重ね、「化学」の枠を超える会社に成長して欲しいということ。皆さんもぜひ大きな夢を抱き、好奇心を持って多くのことを吸収するとともに、自由闊達に議論し、積極果敢に行動することで、ぜひその夢を実現していただきたい。

以上